



議題3

報道機関 各位

記者発表資料

令和3年5月17日（月）

小・中学校について

問い合わせ先：指導1課

課長：藤田 担当：吉野山

電話：829-1661

内線：4062

高等学校について

問い合わせ先：高校教育課

課長：山本 担当：小倉

電話：829-1671

内線：4146

令和3年度さいたま市主権者教育の推進
～さいたま市選挙イヤーに向けて～

去る5月9日にさいたま市長選挙が告示され、さらに、今年度は衆議院の解散・総選挙も予定されています。本市では12年間の学びの連続性を活かし、政治や選挙に関心を持ち、進んで社会参画しようとする児童生徒の育成に向けて、ICTを効果的に活用し、引き続き体系的な主権者教育の充実を図ってまいります。

つきましては、今年度の取組についてお知らせいたします。

記

1 令和3年度 主権者教育の重点

- (1) 社会科・公民科における「リアル」な体験活動に、ICTも活用した「デジタル」な体験をプラスした授業の充実
- (2) 社会科・公民科以外の教科における教科横断的な授業の実践

2 令和3年度 おもな取組の予定

- (1) 議場見学
 - ・与野南小学校、神田小学校（時期未定）
- (2) 市議会傍聴
 - ・大原中学校（令和3年9月予定）
 - ・浦和、浦和南、大宮北高等学校（令和4年2月予定）
- (3) 模擬選挙
 - ・浦和高等学校（令和3年5月22日）※さいたま市長選挙を想定
 - ・浦和南高等学校（令和3年7月予定）



報道機関 各位

記者発表資料

令和3年5月17日(月)

問い合わせ先：高校教育課

課長：山本 担当：小倉

電話：829-1671

内線：4146

さいたま市長選挙に向けて、市立高等学校でICT（タブレット端末）を活用した模擬選挙を実施します

さいたま市では12年間の学びの連続性を活かし、政治や選挙に関心を持ち、進んで社会参画しようとする児童生徒の育成に向けて、ICTを効果的に活用し、引き続き体系的な主権者教育の充実を図ってまいります。

このたび、標記の件につきまして、浦和高等学校で実施することになりましたのでお知らせいたします。

記

1 概要

- | | |
|---------|--|
| (1) 日 時 | 令和3年5月22日(土) 第4校時
11時50分～12時40分 |
| (2) 対 象 | 1年1組 42名 |
| (3) 場 所 | 浦和高等学校 1年1組教室 |
| (4) 内 容 | ・講義
・選挙公報やマニフェスト等を用いたディスカッション
・タブレット端末を用いた投票 |

2 備考

- ・さいたま市長選挙（令和3年5月9日告示）を想定して実施する。
- ・模擬選挙の開票は、実際の選挙の開票結果が発表された後に実施する。
- ・開票結果については、教育委員会を含め外部への公表はしない。

議題 3

令和3年5月17日
さいたま市教育委員会

令和3年度 さいたま市主権者教育の 推進について



～さいたま市選挙イヤーに向けて～

令和3年は『さいたま市選挙イヤー』！

しかし...

さいたま市の若年層の投票状況

※H31さいたま市議会議員選挙

- ・ 18歳 37.08%
- ・ 19歳 **27.61%** ・ 20歳代 **20.21%** (世代別最低値)



18歳になった
高校生が初選挙へ！

しかし、19歳から
投票率が低下↓

社会の要請

- 18歳への選挙権年齢の引下げ (H28)
- 小・中学校からの体系的な主権者教育の充実を
図ることが学習指導要領で求められる (H29・30)



各学校段階における学びを通じて、**確実に育成して**
いくための方策を講じていくことが重要！

新学習指導要領

- R2 小学校全面実施
- R3 中学校全面実施
- R4 高等学校
年次進行で実施

令和3年度 さいたま市主権者教育の推進

主権者教育推進のポイント

(H30主権者教育リーフレットより)

- ① **トライする** (体験活動の推進)
- ② **話し合う** (話し合い活動の充実)
- ③ **本物に触れる** (実社会との関わり)
- ④ **「18歳」を見通す** (ゴールの共有)

小学校

【身に付けたい資質・能力】

- 現代社会の仕組みや働き、社会生活を営む上で大切な法やきまりについて理解する。
- 地域の身近な課題を理解し、その解決に向けて自分なりに考える。
- よりよい社会を考え、主体的に問題解決に取り組む。

【おもな体験的活動】

- **議場見学 (市議会)**
 - ・ 与野南小、神田小
- **模擬投票等の実施**
 - ・ 選挙管理委員会や税務署等と連携

中学校

【身に付けたい資質・能力】

- 民主主義、民主政治の意義、国民生活の向上と経済活動との関わり等について理解を深める。
- 現実にある課題や争点について自らの問題として主体的に考え、判断する。
- 複数の立場や意見を踏まえて根拠に基づき公正に判断し、主張する。
- 主体的に政治に参加することについて、多面的・多角的に考察・構想し表現する。

【おもな体験的活動】

- **市議会見学・傍聴**
 - ・ 大原中
- **ICTによる傍聴**
 - ・ 春里中ほか全校で展開 (予定)
- **模擬投票等の実施**
 - ・ 選挙管理委員会や税務署等と連携

高等学校

【身に付けたい資質・能力】

- 法やきまりについて、正しく理解する。
- 政治、経済に関する基礎的・基本的な知識を有する。
- これまでの学びをもとに、社会の諸事象を多面的・多角的に考察し、公正に判断する。
- 課題の解決に向けて協働的に追究し、根拠をもって主張することで合意を形成する。
- よりよい社会の実現に向けて国家・社会の形成に主体的に参画する。

【おもな体験的活動】

- **市議会見学・傍聴**
 - ・ 市立3高校
- **ICTによる傍聴**
 - ・ 市立3高校
- **模擬選挙等の実施**
 - ・ 選挙管理委員会等と連携

令和4年度から新科目「公共」スタート!



令和3年度 主権者教育のポイント

～ GIGAスクール構想！リアル体験+デジタル体験～



▶ <社会科・公民科で！> 「リアル」な体験活動に、ICTも活用した「デジタル」な体験をプラスした授業の充実

- ・ 模擬投票等の体験的な活動（投票・集計）
- ・ 国会や市議会等のバーチャル見学
- ・ 選挙啓発動画や市議会中継等の視聴



【目標①】
体験的な活動の
実施率
76%以上！

▶ <社会科・公民科以外でも展開！> 教科横断的な授業の実践

- ・ 家庭科や特別活動等における指導内容の充実

【目標②】
市立高校生の
R3投票率
UP！

① <社会科・公民科で！> 「リアル」な体験活動に、ICTも活用した「デジタル」な体験もプラスした授業の充実

小学校

- ・租税教室を通じて税金がどのように使われるべきかを考え、タブレット端末を利用した模擬投票を行う。

世の中のしくみについて
興味・関心を高める

中学校

- ・架空の市長選挙を想定したバーチャル演説会を実施し、タブレット端末を利用した模擬投票を行う。

自らの問題として
主体的に考え、判断する

高等学校

- ・国政選挙や地方選挙を想定した模擬選挙を行い、タブレット端末を利用して結果を共有しながらディスカッションを行う。

主体的に考え、判断し
成人として自ら行動する

② <社会科・公民科以外でも展開！> 教科横断的な授業の実践（家庭科の授業を例に）

小学校

- ・地域のために自分にできる仕事を考え、計画を立てて取り組む。

世の中のしくみについて
興味・関心を高める

中学校

- ・幼児や高齢者が暮らしやすい地域にするために、校区を中心にアイデアや工夫を考え、提案する。

自らの問題として
主体的に考え、判断する

高等学校

- ・社会全体で子育てをしていくための地域社会の実現について考察し、自分にできることを考え、表現する。

主体的に考え、判断し
成人として自ら行動する

GOAL

さいたま市の
の
主権者



令和3年度 おもな取組の予定



▶ 議場見学 <小学校>

- ・ 与野南小学校、神田小学校（未定）

▶ 市議会傍聴 <中学校・高等学校>

リアル ・ 大原中学校（令和3年9月予定）

リアル ・ 市立3高等学校（令和4年2月予定）

デジタル ・ すべての市立中学校で展開（予定）

▶ 模擬選挙 <高等学校>

- ・ 浦和高等学校（令和3年5月22日）
- ・ 浦和南高等学校（令和3年7月予定）



初めての選挙に向けて！
(大宮北高等学校)

さいたま市長選挙を題材に、生徒たちが政策について議論し、ICT（タブレット端末）を用いて投票を実施します！

さいたま市は12年間の学びの連続性を活かし政治や選挙に関心を持ち、進んで社会参画しようとする児童生徒を育成します！